

総務文教委員会会議録

開催年月日	平成28年12月19日(月)	場所	議会委員会室
案件	・調査第4号 防災計画について		
出席委員	萩原委員長、関野副委員長、天日委員、渋谷委員、後藤委員		
欠席委員	岡本委員	事務局	倉本
オブザーバー	—	傍聴者	—
説明員	—		
開会時刻	13時30分	実会議時間	00時間08分
		休憩時間	02時間58分
閉会時刻	16時36分	延会議時間	03時間06分
次回日程	1月16日 13:30～(予定)		
要点記録	<p><概要> ○事務調査第4号「防災計画について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画全体について <ul style="list-style-type: none"> ・ピンポイントでの災害発生ではなく、全市的な災害発生を想定することが必要。 ・観光客への対応も検討されたい。 ・災害発生時における関係機関との連携について <ul style="list-style-type: none"> ◎消防との連携について <ul style="list-style-type: none"> ・避難時におけるサイレンの吹鳴について、消防と確認する。 ・災害発生時における情報発信のあり方について <ul style="list-style-type: none"> ◎避難するときの情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・サイレンの吹鳴だけではカバーしきれない地区が出てくるので、広報車、メール、ラジオなど、手段の重層化を一層強化されたい。 ・安全・安心メールの登録について、待ちの姿勢ではなく、行政側からのアプローチも必要。また、SMSでの配信は可能か。 ・広報車を走らせるときの速度、周知する内容の要約の検討が必要。 ・戸別訪問の取り組みは評価できるものの、周知する内容を記載したプリントを用意するなどの配慮が求められる。 ◎避難所における情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の手段を整備し、避難している方々に広く伝わることを求められる。 ・事実に基づいた情報を発信し、憶測に基づく情報で誤解を与えることの無いよう、毅然と対応すること。 ◎災害発生時の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の問い合わせに確実にこらえられるよう、避難所の情報や被害状況などを専用回線で流すような仕組みが使えないか。 ・ホームページによる情報発信を迅速に行えると、市外の方も情報を 		

	<p>得やすくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の推進に向けた取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・新しく組織を設立するには無理があるので、既存の町内会の機能にプラスするとスムーズに進むのではないか。 ・任意の団体ではあるが、頼りにしている部分はたくさんある。 ・設立後の活動内容を例示したガイドラインを作成し、全市的な取り組みにすること、活動の活性化につなげる必要がある。 ・避難所運営・情報発信の考え方について <ul style="list-style-type: none"> ・年に一度、図上訓練など、庁内での確認は行われたい。 ・要支援者、援護者への対応について、民生委員と連携して行う。 ・避難所における職員の役割分担、スペースの使い方を検討されたい。 <p>○次回の委員会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間報告で挙げたほかの要点について意見交換を実施する。
--	--

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第 27 条の規定により、ここに署名する。

委員長 萩原弘之